

令和4年度 環境に関する主な取組（抜粋版）

4 ゼロカーボンハウス促進補助事業

■ 補助率及び上限金額（令和4（2022）年度）

- 太陽光発電システム（購入・設置費の1/10：上限15万円）
- エコキュート（購入・設置費の1/10：上限4.5万円）※既存住宅のみ
- エコジョーズ（購入・設置費の1/10：上限3.5万円）※既存住宅のみ ※令和4年度廃止
- エコフィール（購入・設置費の1/10：上限2.5万円）※既存住宅のみ ※令和4年度廃止
- HEMS（購入・設置費の1/10：上限2万円）
- 定置用リチウムイオン蓄電池（購入・設置費の1/10：上限12万円）
- コレモ（購入・設置費の1/10：上限5万円） ※令和4年度廃止
- V2H（購入・設置費の1/10：上限5万円）
- 給電装置（購入・設置費の1/10：上限3万円）

■ 補助実績

（単位：件）

年度	太陽光発電システム	エコキュート	エコジョーズ	エコフィール	HEMS	リチウムイオン蓄電池	コレモ	V2H	給電装置	計
H21 (2009)	5	-	-	-	-	-	-	-		5
H22 (2010)	10	-	-	-	-	-	-	-		10
H23 (2011)	20	-	-	-	-	-	-	-		20
H24 (2012)	101	-	-	-	-	-	-	-		101
H25 (2013)	148	-	-	-	-	-	-	-		148
H26 (2014)	110	-	-	-	-	-	-	-		110
H27 (2015)	51	-	-	-	-	-	-	-		51
H28 (2016)	31	64	179	51	-	-	-	-		325
H29 (2017)	34	69	163	83	-	-	-	-		349
H30 (2018)	35	74	182	70	-	-	-	-		361
R1 (2019)	19	29	50	50	6	5	-	-		159
R2 (2020)	14	37	43	64	7	8	2	0		175
R3 (2021)	16	31	22	32	5	21	6	0		133
R4 (2022)	40	98	-	-	7	26	-	0	9	180
計	634	402	639	350	25	60	8	0	9	2,127

《みんなで環境に取り組むまち》

指 標	基準値	目標値	2022 年
環境基本計画推進会議事業参加者数	年間 80 名 (過去 10 年平均)	年間 100 名	108 名

《地球環境にやさしいまち》

本市のエネルギー消費量は 2019 年度 47,604TJ となっており、基準年度比 17.0%の減少となっています。エネルギー消費量合計が基準年度比において減少した要因は、苫小牧市のエネルギー消費量構成の約 8 割を占める産業部門のエネルギー消費量が大きく作用していることが挙げられます。

各年度のエネルギー消費量は以下のとおりです。

(単位:TJ)

部 門	2013 年度 (基準) 年度	2018 年度	2019 年度	削減率	
				基準年度比	前年度比
産 業 部 門	46,333	41,404	37,278	▲19.5%	▲10.0%
業 務 部 門	3,126	2,511	2,359	▲24.5%	▲6.1%
家 庭 部 門	4,488	4,461	4,803	7.0%	7.7%
運 輸 部 門	3,008	2,848	2,775	▲7.7%	▲2.5%
廃棄物部門	402	392	388	▲3.3%	▲0.8%
合 計	57,356	51,616	47,604	▲17.0%	▲7.8%

※端数処理の関係から、実際の計算結果と一致しない場合があります。

第4節 協働による計画の推進

(1) せせらぎスクール

○会場：オートリゾート苫小牧アルテン（覚生川） ○講師：環境保全課職員

降雨の影響で川の水かさが増したことにより、安全面を考慮し、開催中止としました。

（予備日も同様の理由から開催不可）

(2) ウトナイ湖漁業体験

○会場：ウトナイ湖

○講師：ネイチャーセンターレンジャー、ウトナイ養殖漁業会、

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念し、ウトナイ養殖漁業会からの打診を受け、事業を中止しました。

(3) 身近なゼロカーボン見学会

○協力企業・会場【大鎮キムラ建設(株) 沼ノ端中央モデルハウス】

環境にも家計にも優しい「ZEH（ゼッチ）」モデルハウスを見学しました。

高い断熱性+ヒートポンプ技術を採用した省エネ設備により、室内のどこにいても暖かく過ごすことができました。ZEH 住宅は、通常の住宅と比較すると少ないエネルギー消費量で済むので、光熱費がおトクです。参加者の皆さんは、現在お住まいの住宅の悩みやリフォーム等についても積極的に質問していました。

○協力企業・会場【トヨタカローラ苫小牧(株) とまこまい店】

クルマの動力の種類と特徴についてご説明と、乗車体験を行いました。

走行時だけでなく、製造から廃棄に至るまでの二酸化炭素（CO₂）排出量を比較することで、脱炭素社会に向けたクルマ選びの選択肢を広げるきっかけとなりました。また、【アドバンストパーク（高度駐車支援システム）体験】【水素自動車『MIRAI』乗車体験】を交代で行いました。

参加者の皆さんからも「乗車できて楽しかった」「水素エネルギーを身近に感じることができた」との感想をいただきました。



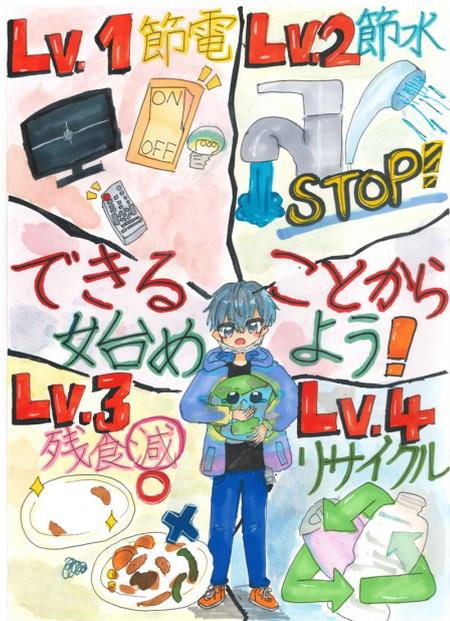
大鎮キムラ建設(株)

トヨタカローラ苫小牧(株)

(4) <第2回>ゼロカーボンポスターコンテスト

環境に対する保全意識を高めてもらうことを目的として、12月1日(木)～翌年1月20日(金)の期間で、市内小学生を対象にゼロカーボン(地球温暖化対策)に関するポスターコンテストを実施しました。応募作品68点のうち、入賞した12点は以下のとおりです。

<最優秀賞>



<優秀賞>



<グッドアイデア賞>



<グッドデザイン賞>



(5) 親子森林整備体験「秘密基地を作ろう！」

○会場：苫東・和みの森 ○講師：NPO 法人いぶり自然学校

次世代を担う子ども達に、自然環境保全への関心を高めてもらうことを目的に、11月20日(日)に開催しました。薪割りや間伐材集めを家族で協力して行いオリジナルの秘密基地を作りました。参加者の皆さんからも「子どもが生き生きとして素晴らしいイベントだった」「ノコギリを使ったり、薪割りするのが楽しかった」との感想をいただきました。



(6) 親子でエコ・クッキング教室

○会場：ココトマ キッチンスタジオ

○講師：北海道地球温暖化防止活動推進員 奥谷 直子

省エネルギーの推進、環境教育・環境学習の充実と普及を図ることを目的に、2月18日(土)に開催しました。子ども達を中心に、余熱調理や保温調理、一つの鍋で同時調理すること等を実践しました。保温時間中にミニ講座を行い、地球温暖化の現状と日常生活でできるエコについて学びました。参加者の皆さんからも「他の人と一緒に協力して作って、仲良くなって楽しくあつという間でした。」「とても美味しかった、また来て食べたい。」との感想をいただきました。



(7) 突撃！とまエコ企業

環境保全課職員がトヨタカローラ苫小牧(株)とまこまい店、(株) Jファーム苫小牧工場へ取材し、動画にまとめたものを ウェブ上で公開しました。



「トヨタカローラ苫小牧編」



「Jファーム編」

